

with

[ウィズ]

Vol.08

2025 WINTER ISSUE

- 001 埼玉キャンパスで
学内ピクニックを実行しました!
- 002 秘密!のちいきグルメ
- 003 経営学科の近況報告!!
- 004 観光経営学科の近況を紹介!!
- 005 東京キャンパス新施設大紹介!
- 006 歴史学会に潜入セヨ!
ー平安貴族から第二次世界大戦までー
- 008 人間科学科のパワー全開
仲を深めたクラスアワーイベント!!
- 009 \ 留学生別科 /
学園祭初参加!

[制作担当]

- 埼玉キャンパス(教育学部・地域創生学部)
- 東京キャンパス(経営学部・人文学部・留学生別科)

表紙: 東京キャンパス



埼玉キャンパスで 学内ピクニックを 実行しました!

エレベーターに乗って出かけます



到着しました!
(徒歩 20 秒)



はじめに集合写真



はしゃいでいます



いろいろ
食べています



食べ終わりました



踊りはじめました



後ろの3人は
撮影した動画を
チェックしています



終了!



みんな揃って授業へと向かいました

秘密!のちいきグルメ

地域創生学部と言えば実習。実習に欠かせないものと言えばやはり「グルメ!」ということで、今回は地域創生学部生にオススメグルメを聞いてみました! 「三芳町」「富士見市」「八潮市」「笠間市(茨城県)」の4つの実習先ごとにご紹介していきます! これを見たあなたも、おなかが空くこと間違いなし!



三芳町

石坂産業さん
「自家製プレート」

蓋を開けると、彩りの良さに思わずワクワク。なんとプレートの器から食材まで全てが自家製だそうです! 自然の恵みに感謝しつつ満腹になれるプレート、オススメです!!



富士見市

Y206ふじみ野ワインさん
「門外不出の牛タンハンバーグ」

昨年5月にふじみ野駅西口で行われたまちフェスへ出店するお店の映像を流すため、このお店にインタビューをさせていただきました。その時はまだ未成年だったので、成人した暁にはワインと一緒に牛タンハンバーグを食べてみたいと思いました!

こちらからアクセス▶



八潮市

菓子道楽杵屋さん
「やしお躑躅(やしおつつじ)」

八潮市の特産品である小松菜を餡に混ぜたお菓子。優しい甘さと後を引く美味しさが特徴的。このお店では八潮の特産品や地名に基づいた和菓子を多く作っているのでオススメです!



笠間市
(茨城県)

kasamarron cafe さん
「マロンティー」と「モンブラン」

実習中食べたマロンティーとモンブラン。笠間の栗ならではの優しい甘みと栗のほのかな匂いは今でも忘れられません…。

経営学科の 近況報告!!



「文系の学生でもプログラミングはできる! ShukuLab に参加してみませんか?」

淑徳大学内にプログラミングとか色々なことが学べる教室があるらしい…

そういう噂を聞きつけて、シュクトクマが取材に行ってきました。

4つの班に分かれて各自学びたいことを学んでいるとのこと。



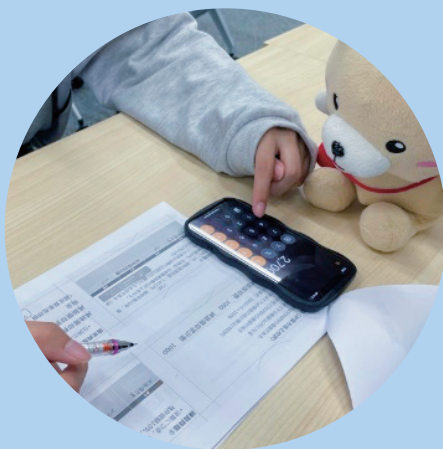
【WEB班】「コードってこんな風を書くんだね～」

私たちはプログラミング、特にHTMLとかCSS、JavaScriptを教えています。みんなに「やってよかった」「楽しかった」って思ってもらいたいし、プログラミングも好きになってほしいという気持ちでやっています。「何かに参加する」というのは難しいけれど、その参加できる経験として参加してほしいなと思っています。

【ITパスポート班】「難しそうなのに、すごいね～」

資格取得を目指す1年生とともに週1回で勉強会をしています。結構準備は大変で、どう伝えればわかりやすいかなと思いつつ調べたりしています。

やはり「人に教える」って気合の入りが違っていて、ぜひ受けた人みんなに合格してほしいなと思っています。



【簿記班】「簿記の勉強頑張ってるんだね～」

簿記班も資格を取ったり、簿記の授業で評価Sを取るために勉強会をしています。

有志の勉強会だからこそ、みんなのモチベーションを維持するのが大変ですが、うまく説明できたときとか「自分やるやん」って褒めたくくなります。

【3Dプリンター班】「これが3Dプリンターかー!」

テキストを章ごとにみんなで確認しながら進めています。3Dプリンターも初めて使うし、ソフトも特殊な操作が多いので慣れないことも多いですが、徐々に色々なことができるようになっていきます。

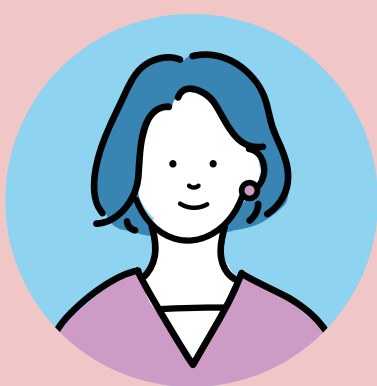
最終的な目標は、自分のオリジナルの模型とかキーホルダーを作りたいなと思っていて、カバンにつけられたら良いなと思っています。



観光経営学科 の近況を紹介!!



1年生の授業には、各専門分野の先生方による講義と外部講師をお招きした特別講義が交互に行われる「観光経営実践入門」という講義があります。
航空やホテル、ブライダルといった様々な分野について先生方や実際に第一線で働いている方々のお話を聞いたり、学んだりすることができます。



(Rさん)

実際の鉄道会社やテーマパークを運営している方々の話を聞くことで、元々興味がなかった分野についても知ることができるため2年次でのゼミ選択の参考にもなります

学科の1年生と合同でグループワークや企業様に企画を提案する過程を通してリーダーシップについて学ぶことができます。
LAと呼ばれる経営学科と観光経営学科の先輩学生(2年生)が進行やアドバイスをを行い、各クラスにわかれて講義を行います。



東京キャンパス

新施設大紹介!



01



「ラーニングコモンズ」

東京キャンパス学事部の移転に伴い、1号館に学生向けの共有スペースが設置されました。ここでは、学生同士の交流を目的としており、学び合いやコミュニケーションの場として活用されています。空きコマや講義間の休み時間に気軽に利用できます。

「9号館」

令和6年3月より開設された9棟目の建物です。エントランスホールは天井が高い吹き抜け式になっており、開放感のある空間になっています。広々とした2階のラウンジは、落ち着いた環境で快適に過ごすことができます。



02

03



「3号館 行動観察実験室」

改修工事を経て、2025年4月より本格的な稼働を開始します。館内はアリーナや体育室といった既存施設を活かしつつ、写真のような新しい教室が整備されています。この他にも様々な施設があるので、学生諸君、乞うご期待!

今回の取材を通して、東京キャンパスの新しい一面を知ることができた。
しかし、これが全てではない。我々は、今後も時代と共に移り変わる
東京キャンパスの変遷を探っていこうと思う。

「祭典に没頭する学生の目の輝きが素晴らしい。
あたかもダイヤの原石のよう。それを引き出すのが教育なり。」(森田)

歴史学会ニ潜入セヨ! —平安貴族から第二次世界大戦まで—

今回は、歴史学科3年の皆さんにインタビューを実施しました!

Q. どんな感じで準備しましたか?

Q. 発表してみてどうでしたか?



森元 晃さん
(浜野ゼミ)

A1. ゼミで何度も発表練習を行い、内容を固めていきました。
ゼミ生からのフィードバックにすごく助けられました。

A1. 思っていたよりもスムーズにできました。ただ、難しい質問
が多く寄せられ、まだまだだなあ、と感じました。



松本 俊祐さん
(森田ゼミ)

A2. インターネットを利用したり、他大学の戦史研究会OBに
おすすめの書籍を教えてもらったりして、テーマ設定を行
いました。

A2. 自分が思っていたよりも場慣れしていなかったこと。
認識と現実とのギャップに気づかされました。
もっと練習をするべきだったと思いました。



Mさん
(鈴木ゼミ)

A3. 既に読んだ先行研究の論文を読み直して、発表予定の内
容に必要な論文をピックアップしました。大学図書館にほ
ぼ毎日通い、夜ギリギリまで図書館で準備していました。
特に大変だったことは古記録の条文を見つけて現代語訳
すること、その条文に返り点をつけることです。

A3. 発表をしてみて、直前までは少し緊張しましたが、発表し
始めると思いのほか緊張せず話すことができました。
手元を見すぎてあまり前を見なかったことは反省点です。



Kさん
(遠藤ゆり子ゼミ)

A4. 研究テーマに関する史料が少なかったため、ゼミの教授
に協力していただきました。

A4. いくつかの指摘はされましたが、自分の研究テーマを発
表でき、とてもよい機会だったと思いました。



Oさん
(田中ゼミ)

A5. 人に聞いてもらうことを意識しながら発表準備を行いました。大勢の人に聞いてもらうためには、パワーポイントと話す内容を的確にまとめ、分かりやすく伝えるために工夫することが大切だと思います。そのため、聞いている人が分かりやすいように発表準備に努めました。

A5. 人前で話すことに慣れていないため、とても緊張しました。



Yさん
(三宅ゼミ)

A6. 後期が始まってからゼミで3回の発表練習を行い、ゼミ生や教授からの質疑応答を通して、欠けている部分や内容の確認を行い、発表を完成させました。

A6. 私の教室は人数が少なかったのでやりやすかったです。質疑応答でも練習で聞かれた内容が多く、対応できました。



Cさん
(遠藤孝夫ゼミ)

A7. 先行研究や書籍から、近い内容で書かれている箇所を見つけ出し、関連性を持たせることで、発表の内容として深さを出すことを意識しました。その内容を発表練習も通しながら修正を加え、スライドとして完成させました。

A7. オーディエンス側が学習してきた史実に関して、取り上げた先行研究や書籍に関してどのような記述がされているのか気になっている質問が多いように感じました。また、地図や画像の使い方が難しかったように感じました。



Rさん
(村松ゼミ)

A8. 研究テーマが韓国史なので、韓国語の用語はできるだけ使わないように注意しながら発表しました。個人的に韓国語のほうに慣れている用語がいくつかあったので、それを日本語に変えて発表するのは少し新鮮でした。

A8. 発表を真剣に聞いてくれた人や、ポスター展示のときに質問してくれた人が予想以上にいたので、個人的にとっても嬉しかったです。また、今回の学会で得たことを今後の研究に活かしていこうと思いました。

人間科学科のパワー全開 仲を深めたクラスアワーイベント!!

2024年7月5日(金)に、人間科学科1年生のクラス委員が主催のクラスアワー特別イベントを行いました。グループ対抗の「クイズ大会」「幼少期の写真から先生を当てるクイズ」「イントロ・ドン!」「伝言ゲーム」そして最後には全員対抗の「イスとりゲーム」「なんでもバスケット」を行いました。また、イベント終了後、「森のダイニング」で夕飯を食べました。グループは各ゲームごとにランダムで振り分けられていて、初めはみんなどこか緊張した面持ちでした。しかし、ゲームを重ねるにつれて、緊張がほぐれていき、楽しそうにしている姿がたくさん見受けられました。今回のクラスアワー特別イベントを機に、入学から3ヶ月経ってお互いを分かってきたころでしたが、より一層仲を深めることができました。

チーム戦! モチベ上がるクイズ大会



イントロ・ドン!



大盛り上がり!
私は誰でしょうクイズ



真剣そのもの!
イスとりゲーム



留学生別科 / 学園祭初参加!

2023年に新設された留学生別科の
学生たちが学園祭に初参加しました!

「いっしょにと MoTa"Chi になろう!」をスローガンに、
留学生別科に所属するモンゴル(MO)・台湾(TA)・中国(CHI)の学生が、
国のお菓子や雑貨の販売、ゲームやネイルの実演を行いました。

それぞれの国の学生からのコメント、
そして2024年10月に入学した新入生からのコメントを紹介します。



STUDENT'S VOICE

学生の声(モンゴル出身)

学園祭でモンゴルのお店をやるとき日本人にモンゴルのゲームについて説明して、ゲームをさせるのは私にとってはめっちゃ楽しかった。それで日本人モンゴルのゲームに気になっていたのはとても嬉しかった。来年もやりたい気持ちがあるほどとてもよかった。



STUDENT'S VOICE

学生の声(台湾出身)

大学の学園祭に初めて参加したので、たくさんの店と廊下に移動販売の学生も面白くて活発があった。留学生別科の中に台湾の店において伝統的なバックを売れた、その後台湾語も教えてあげてみんなは台湾語が面白かったと思った。学園祭の際にいろいろな学生と先生、地元の人と交流するのは本当によかった、人生のかけがえのないメモリーズだった。



STUDENT'S VOICE

学生の声(中国出身)

淑徳大学で初めての学園祭に参加し、日本の学生生活の一端を肌で感じることができました。留学生としてこのような貴重な経験をする中で、まるで青春の一頁を彩るような忘れられない思い出が増えました。まず、ダンスサークルの舞台に立つ機会をいただき、日本の友人たちと「切磋琢磨」しながら練習を重ねました。彼らの持つ元気と情熱には圧倒され、互いに励まし合う中で友情が芽生えたことに心から感謝しています。舞台に立つ瞬間の「一心不乱」の気持ち、そして共に汗を流した仲間との絆は、私にとってかけがえのない宝物となりました。また、私が趣味としているネイルを活かして、学園祭ではネイルの屋台を開きました。先生やクラスメートが次々と応援に来てくださり、まるで「支え合いの輪」に包まれているような温かさを感じました。小さなネイルアートの時間の中で、「和気藹々」とした雰囲気の中で交流が生まれたことがとても嬉しかったです。さらに、他国からの留学生たちと協力してお菓子の屋台を出店し、それぞれの文化や味を分かち合うひとときも新鮮で、まさに「異文化交流の架け橋」となりました。多様なバックグラウンドを持つ仲間たちと過ごした時間は、学問の場では得られない学びと発見に満ちていました。このような学園祭の光景は、まるで映画やアニメで見る「青春的一幕」のようで、身をもってその魅力を実感しました。こうした場を通して留学生活に彩りが加わり、「一期一会」の精神で多くの人と交流できたことを幸せに思います。これからも後輩留学生たちが積極的に参加し、異文化交流の楽しさを体験してくれることを願っています。



STUDENT'S VOICE

学生の声(新入生・ネパール出身)

淑徳大学の一員になれたことをとても嬉しく思いました。淑徳のおまつりは私のはじめてでした。でも、それはとてもすばらしかったです。いちばんおもしろかったのはコンサートでした。そしてダンスもたのしかったです。私はセンパイのものをかいました。それはおいしかったです。らいねんわたしたちもネパールの食べ物をうりたいです。そしていろいろなネパールのふくをきたいです。しゅくとくさいのプログラムはとてもおもしろかったです。みんながくせいがきょうりよくして、さまざまなくにのたべものをたんさくするきかがありました。この大学を誇りに思うことができとても光栄です。

